

# 電波時計 (カレンダー・温度湿度表示付掛時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 M312-CXXW

## ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 温度・湿度表示

お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。  
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。**お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。** 例 4FYA〇〇

発売元 **リズム時計工業株式会社**

(フリーダイヤル)

**お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。



(Y1102)



## 安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

-  この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
-  この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

-  この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


### ■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

### ■液晶について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、すぐに水道水でよく洗い流し、医師の治療を受けてください。

### ■使用場所について

-  下記のような場所では使わないでください。  
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃
時間精度	標準電波受信直後の表示精度 秒針 ±1秒 分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒
表示針	時刻 デジタル：月日、曜日、温度、湿度
カレンダー	2000年～2099年まで対応
使用電池	高性能単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6PU または単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6
電池寿命	約1年 明暗センサーにより1日当たり7時間秒針が12時位置に停止しているとき
暗所秒針停止	明暗センサーにより12時位置に停止
電池交換時期	電池マークで表示
お知らせ機能	
電波時計機能	標準電波を受信して日時を自動修正
受信局	福島局/九州局 自動切替 受信局表示
受信機能	ON/OFF スライドスイッチ方式
受信回数	1日に7回
受信時刻	2,3,6,10,14,18,22時 各時間帯の16分40秒に受信開始
手動時刻合わせ	デジタル合わせ方式
温度表示	表示範囲 -9.9～+49.9℃ 温度精度 ±2℃
湿度表示	表示範囲 20～90%（温度5～45℃） 湿度精度 ±10%

マンガン乾電池について	マンガン乾電池にもいくつか種類があります。指定以外のマンガン乾電池を使用した場合、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
高性能マンガン乾電池の商品例	メーカー 商品名 表記記号 パナソニック ネオ黒 R6P(NB) 日立マクセル ブラック P6PU(BN) 東芝 キングパワーブラック P6PU UB
■液晶について	▷0℃以下では薄くなったり、反応が鈍くなることがあります。40℃以上では表示が濃くなり、むらに見えることがあります。 ▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなる場合があります。
■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。	

付属品	高性能単3形マンガン乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚
-----	--

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

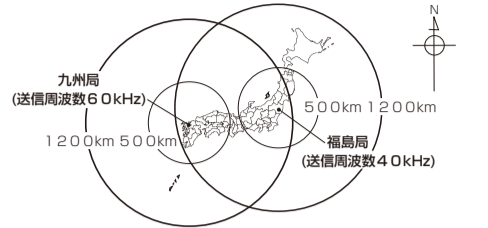
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときには、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

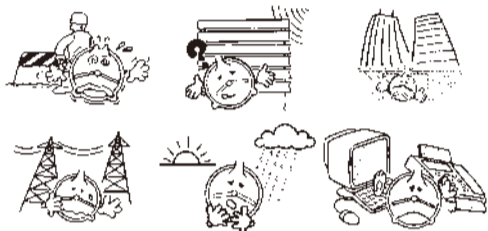


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く



## 電池のご注意 (電池の正しい使い方)




### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故を無くしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。


### 電池の種類について


- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ アルカリとマンガン乾電池の混使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例：Panasonic オキシライド乾電池)

### 取り扱いについて

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。
-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
  -  ●電池を充電しない。
  -  ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
  - 電池をショートさせない。
  - 時計を使用しないときは電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

### 電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

## 時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

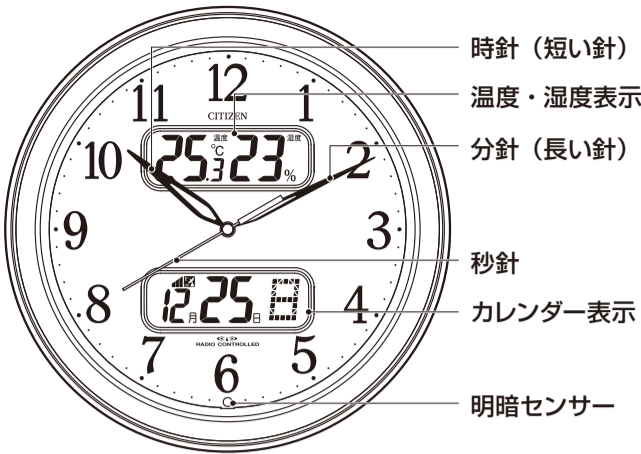
## 静電気の影響について

静電気の影響により、時計や液晶表示などが正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、リセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対して  
なんら責任を負いません。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

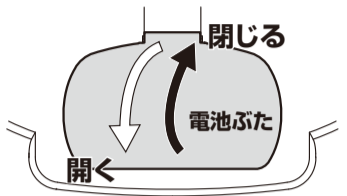
図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



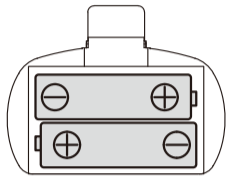
### ◆ 液晶表示 ◆

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の角度から見ると表示がむらに見ることがあります。

### 〈電池の入れ方〉②



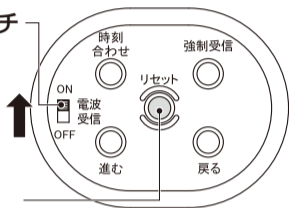
(裏面)



高性能単 3 形マンガン乾電池 2 個

### ①

電波受信スイッチ



### ③

リセットボタン

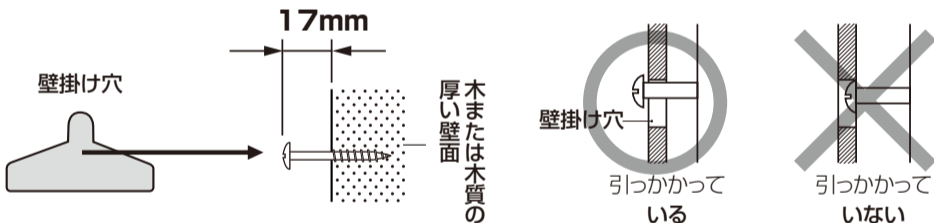
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタンを押してください。  
○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

## 時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴と掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドア開閉時の振動などが伝わらないところに設置してください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 温度・湿度表示

設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

▶温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中などでは使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。

⑧本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

○センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。

○測定範囲を超えたときは、次のように表示されます。

温度 L: -9.9℃より低温 HI: +49.9℃より高温  
湿度 L: 20% 未満 HI: 90%より高い \*LまたはHIを表示した後に、--表示に切り替わります。  
※湿度は、温度が5℃未満または45℃より高温のときは測定できません。このときは--を表示します。

## 明暗センサー.....暗くなると秒針が止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。

明るくなると早送りで現在時刻に移動します。

昼や夜間の照明時でも明るさが不足すると反応します。

## 電池の交換時期お知らせ機能

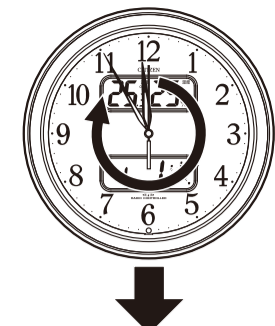
電池の交換時期になると電池マーク(🔋)が表示されます。表示されたら速やかに新品の電池にすべて交換してください。



### ◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕を逆に入れない。

## 標準電波—受信の流れ



### ①リセットボタンを押す

針が12時を目指して動き出します。この段階では受信を開始しません。リセットボタンを押した直後は、2008年1月1日午前12時00分00秒にセットされます。  
※受信が終了するまでは、ボタンやスイッチに触れないでください。



### ②針が12時に移動後受信を開始

電波の状態により電波マークが変化します。受信中に送信局を探すために電波マークが切り替わることがあります。電波の強さにより電波マークが変化します。  
受信できません ..... ▶ 受信しやすい



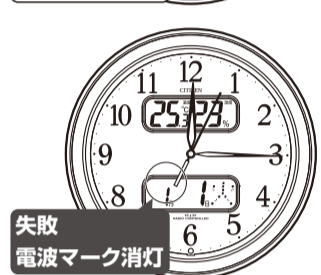
受信中は点滅しながら変化します。(電波サーチ)  
1~2分しても①または②の状態が続く場合は設置場所を変えてください。

### ③-1 受信成功

受信に成功すると福島局または九州局の電波マークが点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。

福島局受信成功 九州局受信成功

※電波マークは受信成功後24時間点灯します。



### ③-2 受信失敗

標準電波を受信できない場合

受信に失敗すると電波マークは消灯したままになり、針は12時00分00秒からの受信に要した時間分を早送りしその後時刻を刻みます。



## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにしてリセットボタンを押して受信を試みてください。
- 時刻を合わせ使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手で時刻を合わせて使用してください。

操作例.  
2011年12月25日 午前10:37に合わせる



①西暦年が点滅するまで、時刻合わせボタンを約3秒間押しつづけます。



②進むまたは戻るボタンで「年」を「2011」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



③進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



④進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



⑤進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。

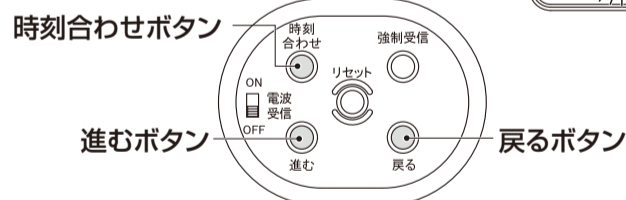


⑥進むまたは戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。時刻合わせボタンを押すと針が設定した時刻に移動し時を刻み始めます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

### ■ 手動時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
  - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押しやすく離すと1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
  - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
  - 設定が終わると針が設定時刻に移動して時を刻み始めます。



※操作を約7秒間中断すると、表示されている内容に設定して通常の表示に戻ります。  
※電波受信スイッチが「ON」の場合、手で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。☑ 電波受信機能のON/OFF  
※標準電波を受信しない場合は、平均月差 ±30秒になります。

## D 標準電波受信機能のON/OFF

標準電波機能を OFF にするには (標準電波を受信しない)

電波受信スイッチをOFF側にしてください。受信マークが消灯し、標準電波の受信を停止します。標準電波を受信しにくい場所やノイズにより誤表示するときにOFFにします。そのあとで、手で時刻・カレンダーを合わせてください。

標準電波機能を ON にするには (標準電波の受信を開始する)

電波受信スイッチをON側にし、リセットボタンを押してください。

## E 強制受信とリセットボタン

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに強制受信ボタンを約3秒間押し続けると、12時に針が移動してから受信を開始します。

受信中は、カレンダー表示部に時刻を表示します。

受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

つぎのようなときは強制受信ボタンを押しても無効です。

- 電波受信スイッチが「OFF」のとき
- 手で時刻を設定している最中
- 針が早送り移動しているときや受信しているとき

リセットボタン

電池を交換するときに押します。2008年1月1日12:00:00にセットされます。リセットボタンを押すと、12時に針が移動し、電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。電波受信スイッチがOFFのときは、12時に移動後に時を刻み始めます。